



ハシゴに代わる「自走式作業台」

共同育苗と収穫の機械化 米とりんごを省力化

労力 不足 にふたつの農協

農家の後継者不足と出かせぎによる人手不足は、るすをあずかるよめ、しゅうとによるいわゆる「三ちゃん農業」と呼ばれて久しく、自主流通米制度の発足や減反の実施から一転して生産を奨励する量産体制へと、国の農業施策のうつり変わりに農民は弱りきった表情です。このような、農業をとり巻くきびしい情勢なかで、機械化と共同経営による近代的な農業経営を加味したりんご栽培の省力化と、大型育苗施設を設けて苗代づくりの省力化をめざす農協が市内にあります。

◇七和農協

昨年度から実施している「果樹栽培省力化促進事業」(総事業費、千七百六十万円)で、りんごの収穫作業の省力化をめざしています。このほど、自走式作業台(六輪駆動)四台と動力運搬車八台(うち一台クレーン付き)それにパレット

六百枚にコンテナ二万四千ケースの収穫セットを購入しました。「自走式作業台」は、これまでのハシゴに代わるもので、圃地を移動できる運搬車に上下自在に伸びる作業台を備えて、投入装置からポリパイプを流れその場で選別しながらコンテナ詰めになり、収穫作業は、これまでの半分に省力されます。

「コンテナ」に詰められたりんごは、一度に二十ケース積める動力運搬車で、十の集荷拠点に集められここでパレットに積み替えてクレーン付き運搬車で冷蔵庫に急送する収穫のシステム化です。

同農協では、羽野木沢地区にモデル園(関係面積五三畝)を設け、秋の収穫期

市政ニュース

昭和48年5月1日

303号
一部4円

発行所 五所川原市役所



お目々つむって顔かくし
鬼さん中にしゃがんでる
わっしょいわっしょい輪になって
ぐるぐる回って鬼ごっこ
わたしが誰かあててごらん
ぼくが誰だかわかるかい
たんぼぼにっこりほほ笑んで
風がこっそりささやいた
空には白い雲が浮き
園児のひとみに夢ゆれる
みんな仲よく手をつなぎ
口笛吹いて歌うたい
いつかは渡ろう虹の橋

◇市農協

までに圃地内を通る三千九十畝の運搬(作業)道(幅三肘)を整備し、モデル園内に十個所の集荷拠点を設け、動力運搬車一台を単位に四つの作業班に分けて収穫作業にあたります。

梅沢支所管内の梅田地区組合員百三十五人(関係面積一三〇畝)が、西北地方では初めてという「大型育苗施設」を建設することになり近く着手します。このため二月十九日、育苗組合(斎藤茂行組合長)を発足させました。

「大型育苗施設」は、旧梅沢中学校跡地一・三畝を市から借り受けており、ここに「作業室」「発芽室」「緑化室」「硬化ハウス」(二〇棟)のあわせて五十アルの一連の育苗施設を設けます。総事業費は二千三百五十万円(四八年度市で四五六万円補助)です。この施設で「むつあさひ」五十畝「ふ系九〇号」三十五畝「レイメイ」十五畝のあわせて百畝の苗を育て組合員に提供します。

農家の利用料は十アル当り五千九百余円で個人育苗による苗代づくりの人手が節約でき、格安です。

生徒の個性を生かす

市教育委員会はこのほど、昭和四十八年度の「学校教育指導の重点と主要施策」を策定し「学校教育の目標を具現化し、管内各校における実践をすすめます充実し、あわせて五所川原教育の発展を期する」という指導の基本方針を決めたほか十三項目にわたる指導の重点事項と主要施策をまとめました。

◇指導の重点

▽学校課題の解明の推進と研究の交流
計画的、累積的に研究を深め、研究成果の定着に努めます
学校相互の研究の交流を推進します
▽指導計画の作成と実施の適正

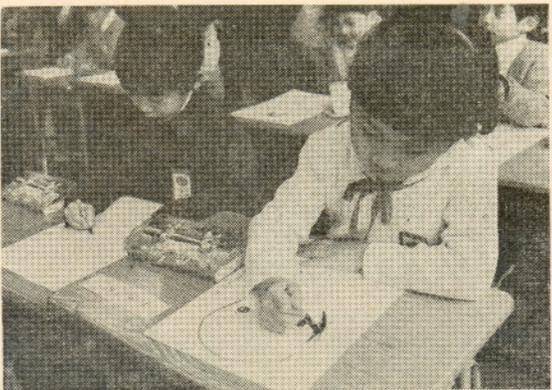
教材を精選した指導計画をたて、実施の適正を期します

内容の重点化をめざした道徳、特別活動の年間計画をたて、指導と実践の充実をはかります

▽授業の改善と充実
教材研究を深め、指導過程や学習形態をくふうし授業の質的向上をはかります

教育機器の効果的な活用をはかり、授業の現代化に努めます
▽体力づくりの強化と安全指導の徹底
体育と保健に関する諸活動を盛んにし生活化に努めます

児童生徒の個性を生かそう



心の花だより

幸田露伴が「爛言」のなかで、この花のことを次のようにとらえているの心をひかれます。「秋海棠は丈の短かきに似ず、葉は鷹揚にて、花のしおらしきものなり。その姿は寛やかに我はと思いがさるるもなき、他の草に越えたる美し

シュウカイドウ

(シュウカイドウ科)
物さびて、住む人柄もすずしげに思われる」
実によく、秋海棠の生態を見ており第一級の文学者

さを見えたるごとし。北に向きたる、小さき書斎の窓の下などに、この花の咲いて縁の苔を厚くとし、地を覆いたるさまは、いかにも

ない、あわせて適時指導にも留意し、児童生徒の安全の徹底を期します
▽校内外における生徒の指導体制を強化し、指導の万全を期します

▽生徒理解を深め、児童生徒ひとりひとりを生かす継続的な指導に努めます

◇主要施策

△学校訪問の実施▽

管内各校を訪問(計画訪問と要請訪問)し、主として指導の重点事項の実施について協力援助します

△指導員の委嘱と派遣▽

指導員を委嘱し、管内各校の要請に応じて指導員を派遣し、校内研修の充実に資します

△市教研の助成▽

市教研の運営を援助し、部会研修の充実と資料集の刊行について助成します

△公開研究会への援助▽

管内における学校公開研究会の開催について援助します

△小体連、音楽発表会、美術展の助成▽

市内小学校体育連盟の諸行事、音楽発表会、美術展の開催について助成します

△特殊教育運営の援助▽

特殊教育へ入級する児童生徒について適正審議委員会をとおして、就学の適正を期し、特殊教育関係者の研修を充実します

△研究集録の刊行▽

「市教研のまとめ」などの研究集録を刊行します

の物を見る眼の確かさに頭

のさがる思いがする。

秋海棠は、陰地を好み、日本庭園の池辺などに植えられ観賞用として親しまれています。

五所川原市内のいくつもの庭でこの花を見ることができます。中国が原産地で寛永十八年にオランダ船を通して長崎に伝えられた秋咲きの多年草です。

看護職員募集

- ▽募集人員 若甲名
- ▽資格 看護婦、助産婦
- ▽待遇 市職員の給与条例による

- ▽応募方法 履歴書二部(写真添付)、免許証(写真)二部を郵送または持参のこと。面接の日時は追って通知します。

五所川原市布屋町四一番地(郵便便号〇三七)五所川原市立西北中央病院

生活環境パトロール本部

住みよい 環境づくりに



⑤ 1414

「燃えないカーテン」に取替を

消防法の規定で「防炎対象物」(映画館など人の集まる場所)で使用するカーテンなどは、防炎性能のある燃えない製品か加工品でなければ使用できず(昭和四四年四月一日施行)、その時点で使用中の物品は特例で防炎規制が適用されませんでした。

しかし、昭和四十七年六月二十三日公布した消防法の改正でその特例が廃止になり昭和四十八年七月一日から施行になります。

このためことし六月三十日まで現在使用中のカーテンなどは防炎加工するか、または防炎製品に取り替えなければいけません。防炎性能のある製品とはカーテン、暗幕、どん帳、布製ブラインド、展示用合板、繊維板、工事用シートなどです。なお、不明の点は五所川原地区消防本部予防係、電話⑤四三三八二番におたずねください。

技能を身につけ 生活の安定を

農家の皆さん
「職業訓練で技能を身につけ、生活の安定をはかりましょう」

県では、農業からはかの産業へ就業を希望する農業従事者に転職訓練をおこないます。

◇入校の資格
現在農業に従事している方か、入校の申し込みをする前一年以内に農業に従事していた方で、農業委員会から「農業者資格認定証明

書」の交付を受けられる方

◇訓練科目など
▽職種 縫製（メリヤス）科

▽訓練場所 市内幾代森福祉会館

▽訓練期間 六月〜八月までの三カ月間

▽定員 十人

◇入校の手続きは

入校願書に次の書類をそえて市商工観光課または職業安定所を経て木造専修職業訓練校に申し込んでください

さい。(申し込み用紙は市と職業安定所にあります)
①入校願書②志願者調査表③身体検査表④農業者資格認定証明書

◇入校中の特典

▽授業料と実習経費は無料のほか、実習用器工具は貸与します

▽入校を許可され、一定の所得要件など(所得税年二三、七〇〇円以下)をそえて知事の認定を受けた方には月約二万五千円程度の手当が支給されます

▽失業保険金受給者で入校中に資格をなくする場合でも、訓練期間中は失業保険金の給付が延長されます

なお、詳しくは市商工観光課、五所川原公共職業安定所、木造専修職業訓練校にお問い合わせください。

任民異動届けは
市民の義務です

▽転入(市内に移ったとき)▽転居(市内で住所が変わったとき)▽転出(市内から他の市町村に移るとき)

十四日以内に転出証明書(転入の場合) 国保被保険者証、国民年金手帳(加入している人) 印鑑をご持参のうえ、市窓口サービス課(電話内線二七三番〜二七九番)にお届けください。

市のりんご経営の指標から



りんごの年産別
品種別構成について

区分	月別	品 種	収穫期	出荷期
早生	8月中旬	祝、東光 不明	8月中旬	8月下旬まで
	8月下旬	祝、東光 不明	8月下旬	
中生	9月上旬	ネネ26号 No.18号	9月上旬	9月中
	9月中旬	ネネ26号 No.18号	9月中旬	
晩(中)生	9月下旬	ネネ26号 No.18号	9月下旬	9月中旬
	10月上旬	スターキング	10月上旬	
	10月中旬	スターキング	10月中旬	
	10月下旬	スターキング	10月下旬	
	11月上旬	スターキング	11月上旬	

注意

おそろしい農薬

◇散布前の注意
▽使用する農薬の説明書をよく読み、基準を守りましょう

▽散布前に必要な道具はそろえておくこと

▽散布前の健康に注意すること

◇散布中の注意
▽たばこ、酒、その他食べものは口にしないこと

▽手、顔など露出部分は防備すること

◇散布後の注意

▽農薬の、カラ容器は焼却するか、地中深くうめること
▽農薬は子どもの手のとどかない所に保管すること
▽散布後は、よく体を洗うこと

減反の申告はすみましたか

ください。

「黒星病」防除の申請を

市では、昨年にひき続き「黒星病」の防除事業を実施します。ことしは、「黒星病」の防除方法を補助金の額など多少変わりましたので「黒星病」の防除事業を実施する共同防除組合などは至急市農林課に問いあわせし、申請してください。

市農林課では、昭和四十八年度の米生産調整(減反)で、「生産調整と稲作転換実施計画書」の受け付けを四月二十日で締め切りしましたが、昨年にひき続き同一水田を休耕(単純、寄託)、転作(永年、普通)する場合でも申告しないと奨励補助金の対象になりません。

ことしひき続き米の生産調整をする方は、いまだたしあめ五月四日(金)まで市農林課米生産調整係へ必ず申告するようにして

市政ダイヤル

その日の
行事や予定は



⑤ 4 3 2 1

おしらせ



「第一回こども」の祭典開く

▽主催 五所川原市子ども会育成団体連合会、五所川原市子ども会リーダー会
 ▽とき 五月五日(土)
 ▽子どもの日

▽ところ 市民文化会館市庁舎前「お祭り広場」

▽参加者 子ども会々員育成会員、指導員、子ども関係者

▽催しもの 開会式 午前十時から(市民文化会館ホール)
 発表会 午前十時半から(同)

①意見発表(子ども会に参加して)
 ②子ども芸能会(歌、劇、ダンス、特技)
 ③レクリエーション 午後一時から(お祭り広場)

④展示会 午前九時～午後四時まで(市民文化会館二階ロビー) 発明、工夫、創作、写真、絵画、新聞、ポスター、書道など

▽昼食 事務局で準備します。

「受給者証の更」の「新」手続きを

老人医療費

「老人医療費受給者証」は毎年一回受給者や配偶者扶養義務者の所得状況などについて確認し、その年の七月一日からひき続き受給することができるか認定し、たうえで交付されます。

また、これまで所得制限などによって受給の対象にならなかった方でもことし四月一日から満七十歳以上の方であれば支給の対象になりますので、申請の手続きをしてください。申請

の手続きをさ
 れませんと、
 七日一日以降
 の医療費は自
 己負担になり
 ます。

▽申請期間 五月一日～五月三十一日まで

▽申請場所 市健康年金課

▽持参するもの 前年の所得の証明書、国民健康保険、社会保険などの被保険者証、印鑑

「永年勤続者に」郵政大臣賞

五所川原郵便局では、四月二十日の「通信記念日」に郵政大臣賞など受けた永年勤続者に表彰状を伝達しました。

表彰を受けた方はつぎの

とおりです。

▽永年勤続(二〇〇年)郵政大臣賞

太田義雄(飯詰局長) 藤田武美(五所川原局) 川島又五郎(木造局) 寺山豊三郎(稲垣局) 中島成雄(十三局) 富田佐一(北金ヶ沢局) 斎藤金敏(板柳局) 石戸谷末太郎(金木局)

▽事業優績 郵政局長賞 白崎恭子(舞戸局)

▽事業功労 郵政局長賞 五所川原郵便局簡保払込団体連合会(佐藤喜丈会長)

▽事業優績 所属長賞 寺田万之助(五所川原局) 小笠原勝栄(出精局) 三和克己(相内局) 佐々木克彦(森田局) 塚本弥助(武田局) 岡田一郎(木造局) (敬称略)

中央青年大学生(第4期生)募集

現代に開かれた市民会館をもち、市民参加を目的とする中央青年大学生の募集です。この機会を利用して、市内の各団体の活動に参加し、社会生活の経験を積むことができます。

- ▷開設場所 市中央公民館
- ▷参加資格 市内に居住する25歳未満の男女青少年
- ▷経費 無料
- ▷学習内容 主として社会人となるための基礎的な知識とレクリエーション、体育、レクレーション
- ▷学習時間 原則として夜7～9時まで。年間50時間位
- ▷定員 30人
- ▷申込先 五所川原市中央公民館、電話⑤2352番 または内線355番
- ▷申込期日 5月15日(火)まで

通信講座であなたも技能士になれる

労働省開設 職業訓練大

学校の 二級技能士訓練課程通信

講座 職業訓練大学校では、通信制による二級技能士訓練課程を開設しすでに多数の修了者が二級技能検定学科試験免除の資格を得ています。あなたも技能士をめざして通信講座を受講して

みませんか。

※募集職種

機械、板金、左官、配管 建築科、家具、建具、ブロック、金属塗装など全部で三十職種。

※受講料 一カ年四千円

※期間 一カ年

※申込時期 年四回に区

分

※特典 修了者には受講

あなたも交通 災害共済に加入を

1日1円(年額350円)の掛金で大きな補償
 ◎事故が起きたときは会員証、事故証明書、医師の診断書を添えて見舞金を請求してください。

刑務官

特別募集

(人事院、法務省)

▽受付期間 四月二十三日～五月十一日(金)

▽採用予定者 百五十人

▽受験資格 昭和十八年四月二日～昭和三十年四月一日までに生まれた男子

▽試験日 第一次試験六月十日(日) 第二次試験八月十日(日)、十一日(月)のいずれの日か一日

▽刑務官とは

犯罪者が再び罪を犯さないようにするため職業の指導をし、基礎的な学力を授けたり、人生相談に応じたりして、希望を失いがちな人に明日への希望を与えるのが使命です。

▽申込先 法務省仙台矯正管区 仙台市古城三二二一(郵便番号九八二) 電話⑤二二二(48)二二五

した職種の二級技能検定学科試験の免除

※お問い合わせ

青森総合訓練校(34) 五丁目二〇～二二またははもりの職業安定所に資料を請求してください。(切手二五円同封)

▽申込先 職業訓練大学校通信訓練部、東京都小平市小川西町二二六〇(郵便番号一八七)